

算数

算数ノートのポイント3

- 1 白いスペースをたくさんとりながら書く
- 2 筆算や途中の式など「考えのあと」を残す
- 3 間違えた答えは消さずに、間違えた理由を書く

算数のノートは、白いスペースをたくさんとりながら書くこと。数字などをぎゅうぎゅうにつめて書くと、式がつかなくて見えたりして計算ミスの原因になります。

授業ノートでは、問題の解き方のポイント、覚えるべき内容を書くときは、色えんぴつを使ったり、かこんだりして目立たせてください。

問題ノートで問題を解く場合は、テストを受けているつもりで真剣に！ そのときは、答えを出すまでどう考えたのか、筆算や途中式など「考えのあと」を、あとから読める字で書いておきます。問題を解き終えたら丸つけです。間違えた答えは消さずに残しておき、「考えのあと」を見ながら、解き直しをします。

そのときに、「計算ミスだ」など、間違えた理由も書いておくと、自分の弱点が発見できますよ。

田 おうちの方へ

算数ノートは、消しゴム、定規を使わない

低学年のうちには、問題や答えはもちろぬ、筆算など「考えのあと」もていねいに書かせてください。

ただし、高学年以降は、きれいに書くことにあまりこだわりすぎないように。高学年以降、東大生の算数ノートは、途中式や図形の補助線など、答えを導くまでの「考えのあと」が、自分が読める程度の字で走り書きのようにメモされています。消しゴムも定規も使っていません。せっかくの「考えのあと」を消してはもったいないし、定規を使っていたら、考えるスピードに手が追いつかなくなるからです。算数には、答えを導くまであれやこれやと試行錯誤する力や、ひらめく力が重要です。そのためには、とにかく手を動かすことが大切なのです。

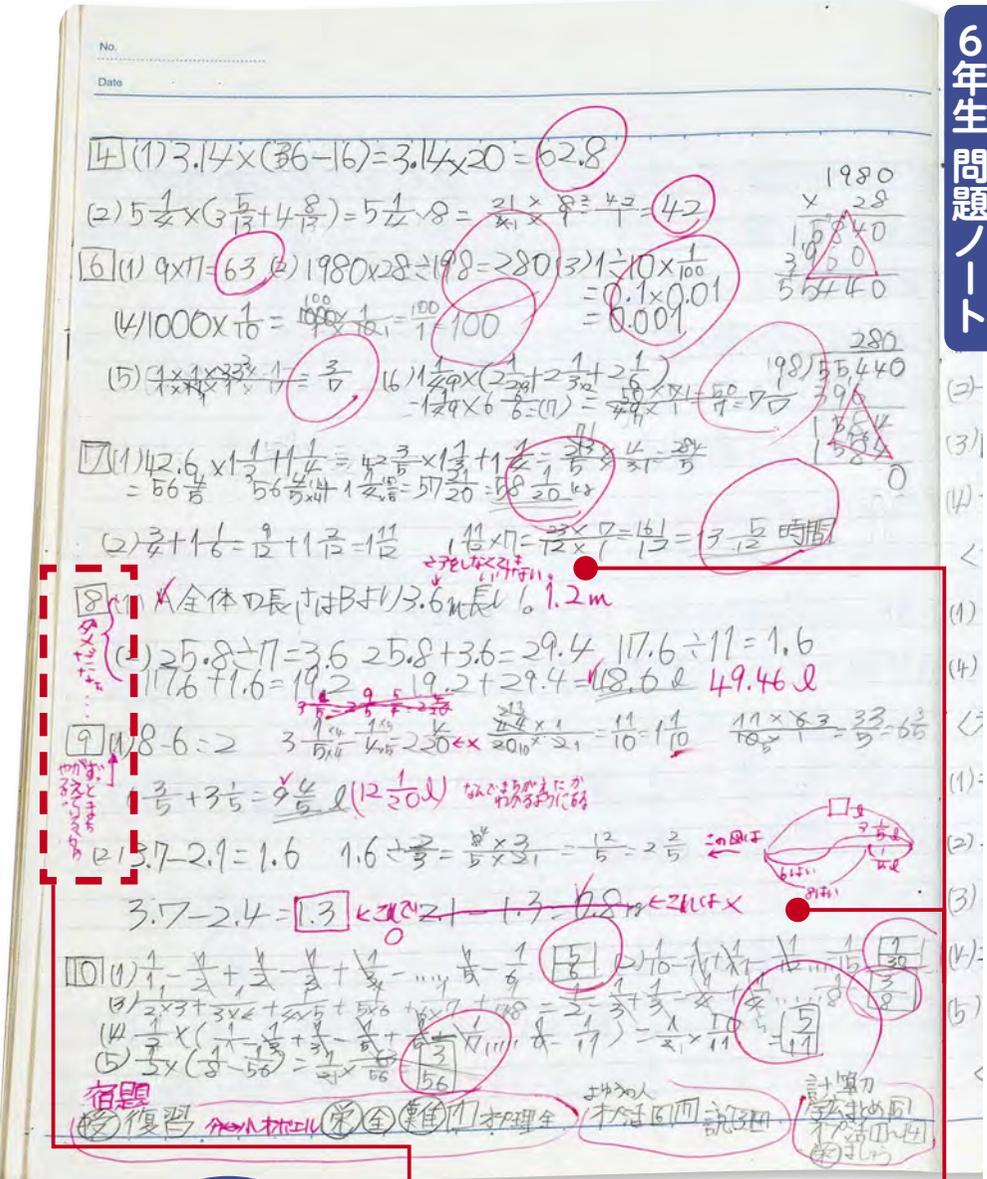
算数のノートは、だんだんスピードも必要になるんだね



東大生のノートを見てみよう！

間違えた理由を書く

6年生問題ノート



ポイント2

反省点も書いておく

丸つけをしているときに感じた思いや反省点を書いておくと、復習でやるべきことが、はっきりと見えてくるよ。

ポイント1

間違えた理由を書く

間違えた答えは消さずに、よこに正解を書こう。また、間違えた理由もメモしておくと、同じミスを繰り返さないようになるよ。

間違いをなくしたいと思いがら丸つけをしているんだね～

